

平成29年度事業報告

社会福祉法人 健善富会
美光保育園

1、運営報告

平成29年度は、前年度内山園長逝去に伴い開園から主任保育士を古川主任が真生保育園に異動。未満児リーダーだった土師保育士が主任保育士となる。

開園5年目を迎え、未満児の担当制保育や遊びの提供は行うことが出来ているが、細かな部分では、見直しが必要。

3歳以上児では、積み木、ごっこ遊び、わらべうた、毎日体操、環境認識、戸外遊び等を基本に、わらべうた、積み木の合同研修参加によって保育の向上が図られたと感じた。

千葉市手当や処遇改善も進み、職員の処遇も改善され働く意欲に繋がっている。その反面保育士不足は改善されず、0歳児のクラスは保育士3名とパート保育士での11名保育となった。職員募集について、短大への求人、訪問、ポスター掲示、実習生への声掛けを行い、明德卒業生3名に入職してもらうことが出来た。

2、園児数

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
定員	9	15	16	16	17	17	90
現員4月	7	20	19	17	18	21	102
現員3月	11	20	19	17	17	21	105

3、保育

- 3歳未満児は保育の基本は定着している。以上児も研修を重ねたことや担任の学びにより、子どもの発想や体験を汲み取り遊びを発展させている。毎日体操、わらべうたも子どもも身に付き行えている。今年度は、子どもの人格を尊重するという事で、ニックネームでの呼びかけ、給食時、子どもがもういないといった時、躰の観点から残さずにと保育士の気持ちも大切だが、子どもの気持ちや体調を考慮し、子どもの気持ちを尊重する事を徹底した。

4、行事

- 秋祭り、ファミリースポーツデイ、子ども劇場、餅つき大会を行った。中でもFSDは雨続きの天候のため、順延しても雨天の予報。園外のアリーナを借りる等の案も考えたが、自園のホールにて、2、3歳児と4、5歳児に分かれて行うこととした。保護者の方からは、満足して頂けた声もあれば、事前に予測予約していくべき、年長児のリレーは園庭で見たかった等の声も上がったが、園児は怪我する事なく、笑顔で参加することが出来た。これからも雨天の場合はホール開催も視野にいれても良いと感じた。
- 年長児は地域特性を生かし、昨年に続き、ほたるの生態園・泉谷公園の探索を行った。ホテルを実際見れたり、成長過程のスライドを見たり貴重な体験となった。泉谷公園でも自然に触れ、その後、家族でもホテルを見に行ったり、遊びに行ったりなど家庭にも繋がる事が出来た。

○年長児のお泊り保育を3園の園長で話し合ったところ、年長児の年での一泊の体験は難しい児も居ること、不審者、災害の発生を考慮し来年度からはお泊り保育は止め、その日のみの活動とすることとした。3月の懇談会で年中・少児に伝える。欠席者は手紙配布。アンケートを行ったが、園内での活動希望が多かったため、以前のお泊り保育の内容に準じた内容にする。できればお泊り保育を続けてほしいという声も多かったが、事情をご理解していただけるようお願いした。

5、保健衛生

- 一時預り事業の定期利用の2歳児男児が平成28年9月2日に保育室で転び、足の親指の骨が僅かに欠けていた(詳しくは園内に記録)。今年度も定期受診を続けていたが、レントゲン検査の結果は少しずつ良くなっているものの完治には至らなかった。平成30年3月末で転居のため、利用が停止されることり、今後は、保護者の方での定期受診をお願いし、診察代金は園に立ち寄って頂き、返金することとなった。また、「ほいくのほけん」へもこの怪我の申請をしているので、今後のこの怪我が原因の手術等の治療代は保険がきくようになっている。
- 平成29年8月1日、5歳児女児が園庭のフェンスのボルトの先で右腕から背中にかけて約15センチの怪我をする。3月の卒園時には、傷は平らに治っているが、白くなっている。フェンスのボルトにカバーを付けて対応した。
- 病院受診は9件だった。今後も怪我の無いよう注意したい。

6、研修

- 新しい保育所保育指針が今年度告示されたので、来年度に向けて、園外の研修を職員は積極的に受講し職員間への報告を行った。特に、「育みたい資質・能力」「幼児期までに育てほしい10の姿」を意識して保育できるよう話し合った。
- 三園合同研修 保育・わらべうた・積み木を行うことで、技術・意識が高まっている。
- 園内研修では、引き続き4月には食物アレルギー児について。特にエピペンについての学習・練習を行うとともに誤食時の訓練も栄養士・看護師中心に計画し実施。職員も緊張感をもって参加した。

7、その他

- 木登りの出来、木陰を作る木を園庭にということで、1月に伊藤ヒサエ氏寄贈の樺の木を園庭に移植。子ども、保護者、職員も自然が増えたことで、喜んでいる。実際木登りができるのは、しっかりと根が張る約一年後となる。
- 今年度は5年目となり、茂原市幼稚園協会の保育研修で幼児の遊びの見学とスライドショーでの発表を受けた。幼児担任も評価して頂けたことで、自信に繋がった。
- NHKワールドの取材を福音菅書店、理事長の紹介で受け、加古里子氏の絵本の読み聞かせの取材があった。担任も加古氏の絵本を学び、子どもたちも沢山の加古氏の作品に触れることが出来た。自然や人間の生きていく上で大切なことに触れることが出来た。大きなテレビカメラの前でスタッフの質問に答える子どもの姿はそれぞれ違ったが貴重な体験となった。